

No	設問文		
2	<p data-bbox="199 219 1316 257">対策を論述する問題 ※【1】～【4】を下書きシート(10ページ)に記入してから記述してください。</p> <p data-bbox="178 291 1476 329">設問：あなたが苦手とする教科を一つ挙げ、それを改善するための勉強方法を考えて述べなさい。</p> <p data-bbox="178 398 1492 481">【1】 まずは設問を理解します。ここでは、「苦手教科」の課題に対する「勉強方法」、つまり対策が問われています。この設問要求を見失わないように、問われていることを記入してください。</p> <p data-bbox="178 542 1316 580">【2】 続いて、テーマに関する知識・情報を整理しながら、【1】に対する答えを考えていきます。</p> <p data-bbox="178 591 1492 674">➤ 第一に、今回のテーマ(苦手教科・勉強方法)に関して知っていることや疑問に感じたことを書き出しましょう。書くことに迷ったときは以下の①を参考にしてください。</p> <p data-bbox="210 723 1492 913">① その教科や、その單元にはどのような特徴があるか。 ① その教科のどのような箇所を苦手と捉えているか。また、その理由や原因は何か。 ① これまでの勉強で改善するべき点、反省するべき点はなかったか。 ① 一般的に提唱・推薦されている勉強方法の中で、自分自身の傾向や課題への対策としてふさわしい方法はないか。</p> <p data-bbox="178 965 1492 1048">➤ 第二に、整理した内容を材料に、あなたの答えを考えていきます。答えとなる「勉強方法」の考え方(論点の設定)に迷ったときは、以下の「考え方(例)」をヒントにしてください。</p> <table border="1" data-bbox="183 1070 1487 1261"> <tr> <td data-bbox="183 1070 279 1261">考え方(例)</td> <td data-bbox="279 1070 1487 1261">現状を踏まえずに「頑張る」というだけでは対策になりません。有効な対策を考えるためには、解決すべき課題を絞りこむことが必要です。「苦手教科」の場合、その教科を苦手と感じる箇所や、その原因・理由などが課題になります。課題を明確にすることで、その内容に応じた対策(勉強方法)を考えやすくなります。</td> </tr> </table> <p data-bbox="178 1308 1332 1346">【3】 問題(【1】)に対する答えを記入してください。この内容が、あなたが論じるべき主張です。</p> <p data-bbox="178 1402 1492 1440">【4】 文章全体の構成を考えます。文章の展開は自由ですが、段落ごとに以下の条件を盛り込んでください。</p> <p data-bbox="210 1451 933 1630">序論：主張(【3】)を明確に述べること。 本論：客観的な根拠を挙げながら、主張を説明すること。 課題と対策のうち、対策の記述に比重を置くこと。 結論：序論と本論を踏まえ、主張をまとめること。</p> <p data-bbox="178 1686 1412 1769">【5】 準備した内容(【1】～【4】)を基に、設問への解答を「小論文・作文原稿用紙」に記述してください。また、本文のタイトルは【3】を基に作成すること。設問文をそのまま書くことは避けます。</p>	考え方(例)	現状を踏まえずに「頑張る」というだけでは対策になりません。有効な対策を考えるためには、解決すべき課題を絞りこむことが必要です。「苦手教科」の場合、その教科を苦手と感じる箇所や、その原因・理由などが課題になります。課題を明確にすることで、その内容に応じた対策(勉強方法)を考えやすくなります。
考え方(例)	現状を踏まえずに「頑張る」というだけでは対策になりません。有効な対策を考えるためには、解決すべき課題を絞りこむことが必要です。「苦手教科」の場合、その教科を苦手と感じる箇所や、その原因・理由などが課題になります。課題を明確にすることで、その内容に応じた対策(勉強方法)を考えやすくなります。		